

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	産業廃棄物処分場跡地における有用植物栽培試験
発表学会名	第 22 回廃棄物資源循環学会研究発表会
発表者名	山崎慶子・田中宏和
開催場所	東京都
発表日時	平成 23 年 11 月 3 日
発表内容	<p>目的 最終処分場跡地の有効活用に関しては、未だ活用事例が少なく、効率的かつ安全な方法を選択することが重要である。跡地利用の選択肢のひとつである有用植物栽培の可能性を検討するため、産業廃棄物処分場において南瓜の栽培試験を実施した。</p> <p>方法 複数区画に分割され、それぞれ埋立時期が異なる管理型産業廃棄物処分場と安定型最終処分場、対照区画に、それぞれ西洋南瓜苗 4 株を植え付け、植え付け時以外は灌水は行わずに生長過程を観察した。</p> <p>結果 ほとんどの株は、最終覆土の透水性が高いことと、記録的な降水量の少なさによって枯死した。対照区を含めて 28 株の苗を植え付けし、管理型処分場の区画で 4 個の果実を収穫した。</p> <p>また、有機物含有量が少ない砂質土では有用植物の生長は遅く、栽培には適さないことが示唆された。</p> <p>跡地利用法として植物栽培を行うには、事前に緑肥の栽培や、客土等の対策が必要と考えられた。</p>